

平成22年5月26日

次世代のため、持続可能な社会構築モデルを目指す ドミニカ共和国などの中米カリブ海諸国で実践

広島本学は、「中米・カリブ海諸国をフィールドとした持続可能な発展に関する研究」事業を行うため、平成22年6月8日に「広島大学サステナブル・ディベロップメント実践研究センター」を設置します。

今日、持続可能な開発／発展を実現するためには、教育、資源、エネルギー、環境など非常に多くの分野における問題を解決する必要があります。この課題解決には、各専門分野の知識・知恵を連携融合させるだけでなく、先進国と発展途上国が協同して取り組む仕組みの構築が必要です。

センターでは、持続可能な社会を構築するための諸課題を分野複合型実践的研究として行い、ドミニカ共和国などの中米カリブ海諸国との協同（共同研究を含む）の下に実践に移すシステムを構築します。また、この研究を通じて、国際的な視野を持った人材の育成も目指します。

<主な研究概要>

ドミニカ流ものづくり教育の開発

～環境を重視した日本型ものづくり教育の実践

現地の国民性や慣習など考慮した上で、環境重視を特性とする日本型ものづくり教育を実践し、工学的視点のみならず多方面から学際的に研究を行います。「ドミニカ流ものづくり教育」の開発に向け、現地における「ものづくり教育」のシステムの構築を目指します。

経済発展と環境保全の両立

～沿岸域の油汚染の実態把握と対処方法の検討

油による海洋汚染が顕在化しているドミニカ共和国を対象に、海洋汚染の実態把握から修復までの一連の研究を行い、海洋国における経済発展と環境保全を両立させる持続可能な社会構築モデルを作ります。

教育立国の日本の成果を活用

～発展途上国の持続的発展を担う次世代育成システム改善に関する研究

発展途上国の次世代育成システムの改善を支援するモデル構築に、教育立国に成功した日本の成果を活用し支援します。ドミニカ共和国をフィールドとして、教師教育の実態を調査し、その特徴と課題を分析し改善策を考察していきます。

なおセンターの設置につきましては、6月8日（火）開催予定の経営協議会および役員会に付議後、正式な設置となります。

また、センターの開所式は、6月9日（水）に開催予定です。

※サステナブル・ディベロップメント、Sustainable Development : SD
持続可能な開発／発展という意味。将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような社会発展しようという理念。

【問い合わせ先】

学術室 学術企画グループリーダー 佐々野克美 TEL:082-424-5860、FAX:082-424-6990
--

広島大学サステナブル・ディベロップメント実践研究センター

持続可能な社会を構築するための諸課題を分野融合型実践的研究として実施し、ドミニカ共和国などの中米カリブ海諸国を対象に相手国と協同し（共同研究を含む）、実践に移すシステムを構築する。
また、本研究を通じて国際的な視野を持った高度研究人材を育成する。

